

健康にアイデアを

meiji

明治グループ行動規範

Meiji Group Code of Conduct

「明治グループ行動規範」の 策定に際して

明治グループは、「食と健康」に携わる企業グループとして、その責任の重さを自覚しながら、企業として健全に発展していくことで、社会への責務を継続的に果たしています。

そのため、役員および従業員は、諸法令、国際的取り決め、社会規範、およびグループ各社の定める諸規程などを遵守し、高い倫理観のもと、公正かつ誠実に行動することが求められています。

この「明治グループ行動規範」は、明治グループ理念体系の「企業行動憲章」を実践するための規範を具体的に示したものであり、明治グループに所属する役員・従業員の一人一人に求められる行動を明確にしたものです。

いま、私たちを取り巻く環境は大きく変化し、より複雑化・不確実化しています。グローバル化が進んだことも大きな特徴です。企業は単なる事業規模の拡大だけではなく、事業活動を通じて環境・社会課題をどう解決するかも求められています。しかも、これらに答えられない企業は淘汰される時代に突入しています。

これからも持続可能な社会の実現に貢献していくためには、グループ共通の価値観に基づき、誠実に行動することが重要です。

明治グループの事業は、お客さまをはじめとするステークホルダーの信頼の上に成り立っており、この行動規範は、私たちの事業活動において関係するすべてのステークホルダーに対しその遵守を約束するものです。

役員・従業員の一人一人が自分ごととして「明治グループ行動規範」の理念を理解し、常に誠実に行動するようにしましょう。

明治ホールディングス株式会社
代表取締役社長 CEO
川村和夫

目次

はじめに

行動規範の目的・位置づけ	4
インテグリティの重要性	4
経営トップのコミットメント	5
企業倫理の醸成に向けた取り組み	5
スピークアップ	5

1. 製品・サービスを通じた健康価値の提供

健康で安全・安心な食生活への貢献	6
医薬品の安定供給による健康への貢献	6
お客さまの安全・安心に資する情報の収集・提供	6
新たな健康価値の創造に向けた研究・技術開発	7

2. 事業を支える自然との共生

脱炭素社会の実現への貢献	8
生物多様性の保全・再生	8
循環型社会の実現への貢献	8
水資源の確保	9
環境汚染の防止	9

3. 社会から信頼される公平・公正な事業活動

腐敗行為の禁止	10
政治・行政との公正な関係	10
薬事関連法令の遵守	10
患者さん・医療関係者との関係性	11
医薬品等の適正使用と普及(プロモーション)	11
誠実・公正な取引の実施	12
責任ある調達	12
動物福祉(アニマルウェルフェア)	12
利益相反の禁止	12
適正な会計処理	13
インサイダー取引の禁止	14
輸出入管理規制の遵守	14
反社会的勢力への対応	14

4. 事業活動を通じた人権の尊重

人権の尊重	15
人権デュー・ディリジェンスと救済	15

5. 健全で働きやすい職場づくり

健康で安全・安心な職場づくり	16
多様性や人格・個性の尊重	16
組織・個人の活力と能力の発揮	16
差別の禁止	17
ハラスメントの禁止	17
公平・公正な処遇の実現	17

6. 良き企業市民としての社会への貢献

社会貢献活動の推進	18
外部パートナーとの連携	18

7. ステークホルダーとの誠実な対話

ステークホルダーとのコミュニケーション	19
適時・適切な情報の提供	19
ソーシャルメディアの利用	20

8. 会社資産・情報の適切な管理・利用

知的財産権の尊重	21
機密情報の保護	21
個人情報の保護	21
会社資産の保全・適正利用	22

9. 危機管理の強化

危機管理の準備	23
事業継続に向けた対応	23
サイバーセキュリティの強化	23
テロ・紛争等に関する危機管理	24

最後に

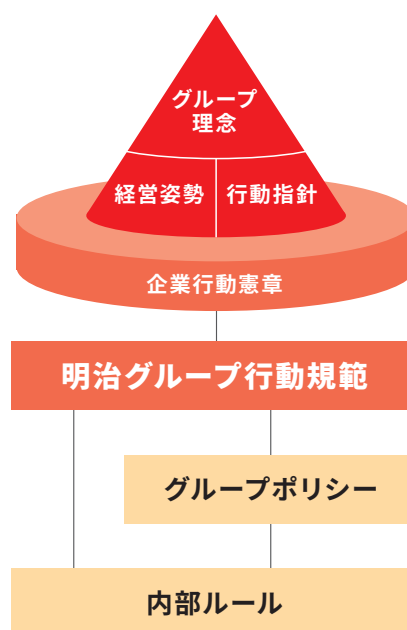
適切に判断するために	25
内部通報	25

はじめに

行動規範の目的・位置づけ

この行動規範は、明治グループ理念体系の「企業行動憲章」を実践するための価値観や考え方、行動基準を具体的に示したものであり、明治グループに所属する役員・従業員の一人一人に求められる行動を明確にしています。

私たちは、この行動規範に基づき、常に誠実に行動することにより、将来世代に対する責任を認識しつつ持続可能な成長を目指します。



インテグリティの重要性

私たちは、インテグリティ（高い倫理観のもと、公正かつ誠実に行動すること）に徹します。そして、お客さまをはじめとするすべてのステークホルダーの信頼を獲得するべく努めます。

経営トップのコミットメント

経営トップは、この行動規範が実効的に運用されるよう

- この行動規範を率先して実践することが自らの責務であると自覚しています。また、この行動規範のいかなる違反も許容しません。
- グループ内外の声に耳を傾け、不断に体制整備を図ります。
- この行動規範に反する重大な事態が発生した場合は、率先してその対処に当たり、適時適切に原因究明、再発防止に努めます。

企業倫理の醸成に向けた取り組み

私たちは、

- 一人一人がこの行動規範を十分理解し、実践します。
- 体系的で効果的な教育・研修を通じてこの行動規範を周知徹底します。
- ビジネスパートナーに対してもこの行動規範への理解と賛同を求め、これに適合した行動をしていただくよう積極的に働きかけていきます。

スピークアップ

私たちは、

- 法令およびこの行動規範に照らし、違反やそのおそれがあると気づいた際は、上職者に報告するなど、見て見ぬふりをせず積極的に声をあげます(スピークアップ)。
- 懸念事項について適切な相談先に相談できるよう、日頃から良好な関係づくりを心がけます。

1

製品・サービスを通じた健康価値の提供

私たちは、

- 「おいしさ・楽しさ」の世界を拓げ、あらゆる世代の人々の「健康・安心」への期待に応えてゆくことを使命とし、「食と健康」に関わる製品・サービスを提供します。
- お客様の信頼と満足を獲得するために、一人一人が「食と健康」のプロフェッショナルとして、お客様に高品質で安全・安心な製品・サービスを提供します。

健康で安全・安心な食生活への貢献

私たちは、

- 栄養改善に資する製品・サービスを提供し、あらゆる世代のお客様の健康な食生活に貢献します。
- お客様の健康ニーズを的確に捉え、それぞれのライフステージで多様な価値観を有するお客様に寄り添う製品・サービスを提供します。

医薬品の安定供給による健康への貢献

私たちは、安全・有用・高品質な医薬品を安定的に供給し、医薬品を必要とする人々や動物の健康に貢献します。そのために、厳格な信頼性保証体制を構築するとともに、安定的なサプライチェーンの維持に努めます。

お客様の安全・安心に資する情報の収集・提供

私たちは、

- お客様の安全を最優先に考え、お客様が最適な製品・サービスを選択することができるよう、有用で安心できる情報を適時適切に提供します。
- 不断に製品・サービスの安全性・品質に関する情報の収集に努めるとともに、お客様からのお問い合わせやご意見には誠実かつ迅速に対応し、製品・サービスの改善・開発に活かします。

新たな健康価値の創造に向けた研究・技術開発

私たちは、

- お客さまの日々の生活の充実に貢献するべく、新たな健康価値の創造に努め、お客さまに満足いただける製品・サービスの研究・開発を推進します。
- グループとして持てる創造力・技術によるシナジーの創出に注力するとともに、様々なステークホルダーとのオープンイノベーションを積極的に展開します。



2

事業を支える自然との共生

明治グループの事業は豊かな自然の恵みの上に成り立っていることを認識し、自然環境に配慮した事業活動を行います。そして環境にかかわる法令・条例、関係者との協定、業界規範、自主基準を遵守します。

脱炭素社会の実現への貢献

私たちは、

- 気候変動を解決すべき重要な社会課題の一つとして認識し、脱炭素社会の実現に向けてCO₂などの温室効果ガスの削減や再生可能エネルギーの活用に努めます。
- オゾン層の保護や地球温暖化防止のため、フロンの使用量削減や漏洩量抑制に努めます。

生物多様性の保全・再生

私たちは、豊かな自然の恵みを将来にわたって享受できるよう、原材料調達から廃棄に至るサプライチェーン全体を通じた事業活動において、生物多様性への影響を把握し、その保全・再生に向けた取り組みを推進します。

循環型社会の実現への貢献

私たちは、循環型社会の実現に向け、製品のライフサイクル全般およびあらゆる事業活動において、廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化を推進し、自然環境への負荷を限りなくゼロにしていくチャレンジを続けていきます。

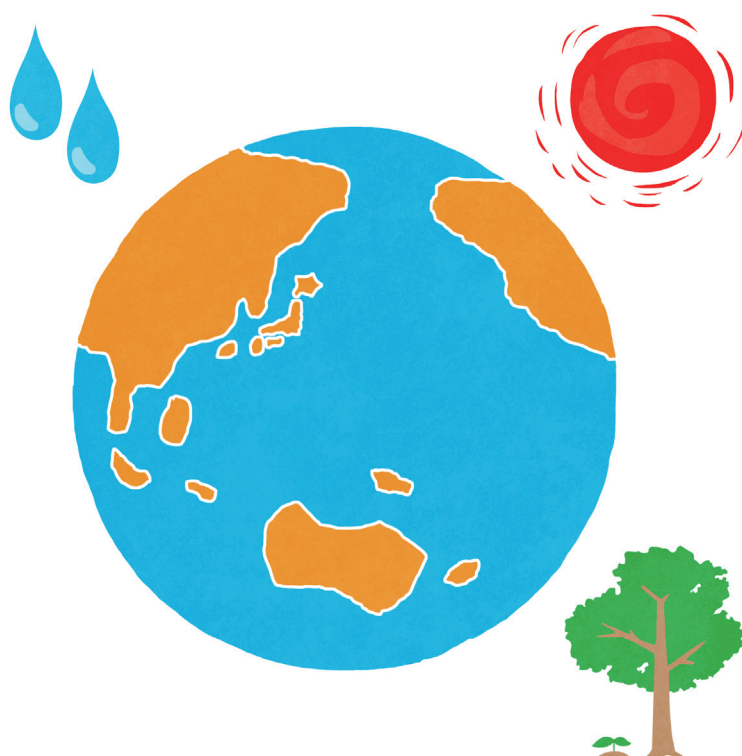
水資源の確保

私たちは、

- 水の使用量の削減や適正な排水管理などによって環境負荷低減に取り組んでいきます。
- 企業緑地などでの森林保全活動を通して水源涵養にも取り組んでいきます。

環境汚染の防止

私たちは、事業活動由来の環境汚染を防止するために、環境関連法令の遵守を徹底するとともに、サプライチェーン全体で環境汚染ゼロに向けた取り組みを推進します。



3

社会から信頼される 公平・公正な事業活動

私たちは、透明・健全で社会から信頼される企業グループであり続けます。
そのために、コンプライアンスを徹底することにより、各国・地域の法令を遵守し、現地の文化や慣習も尊重し、企業倫理に則りながら、公平・公正な事業活動に徹します。

腐敗行為の禁止

私たちは、

- 贈収賄、職権の濫用、マネーロンダリング、インサイダー取引等のあらゆる形態の腐敗行為（権限や優越的な立場を会社・個人の利益のために不当に用いる行為）を禁止します。
- とりわけ、国内外の公務員等やビジネスパートナーに対し、社会慣習上適正と認められる範囲を超えて、不当な金銭・寄付金・贈答品・接待・その他の財産的利益を供与および授受すること（贈収賄）はしません。
- また、贈収賄に当たらない贈答・接待は、関係する内部ルールに従い、必要な手続を経た上で行います。

政治・行政との公正な関係

私たちは、

- 違法な政治献金等の政治・行政との癒着が疑われる行為はせず、健全かつ透明性の高い関係性を維持します。
- 個人的に政治活動を行う際は、個人としての活動であることを明確にし、また、会社業務の遂行に支障を来し、政治資金規正に反することはしません。

薬事関連法令の遵守

私たちは、

- 患者さんや医療関係者からの信頼に応えるため、研究開発、製造、保管、流通および市販後のあらゆる場面において、医薬品等の安全性、有効性および品質の確保に関する法令や内部基準を遵守します。
- 医薬品等の市販後も安全性について調査・情報収集し、有害事象が発生した疑いがある場合は、直ちに安全確保に努めるとともに、迅速に当局へ報告します。
- 研究開発においては、客観的で正確なデータに基づき、必要な情報を適切に開示します。

患者さん・医療関係者との関係性

私たちは、患者さん(患者団体を含みます)・医療関係者との交流にあたり、関係法令・通知等および業界自主規制を遵守し、健全かつ透明性の高い関係性を維持します。

医薬品等の適正使用と普及(プロモーション)

私たちは、

- 患者さんの健康を第一に考え、製品の普及にあたっては誠実で倫理的な行動を貫きます。
- 患者さんの健康の改善・向上のため、医療関係者に対して正確な情報を提供・伝達し、医薬品等の適正使用と普及に努めます。



誠実・公正な取引の実施

私たちは、

- 独占禁止法等の公正で自由な競争を確保することに関する法令(競争法)や内部ルールを遵守し、ビジネスパートナーと誠実で公正な取引を行います。
- 競合他社とカルテル、入札談合等の不当な取引制限を行いません。
- 取引上の優越的な地位を濫用するなど、不公正な取引方法を用いてビジネスパートナーと取引を行いません。

責任ある調達

私たちは、

- 原材料の調達にあたり、人権、環境等の社会的責任に配慮した持続可能な調達を推進します。
- サプライチェーン上の人権・環境課題が認識された場合は、サプライヤーと連携し責任をもって解決に努めます。

動物福祉(アニマルウェルフェア)

私たちは、

- 国際獣疫事務局(OIE)の基本原則である「5つの自由」に従い、家畜の健康と福祉に配慮した取り組みを推進します。
- 動物実験の実施に際しては、「代替法の利用」「使用数の削減」「苦痛の軽減」の3Rの原則を考慮した上で行います。なお、食品の商品開発においては、法的に求められ、代替試験法がない場合を除き動物実験を行いません。

利益相反の禁止

私たちは、

- 個人的な利害によって業務上の判断・行動に影響を及ぼすことがないよう、公私のけじめをつけます。
- 事業活動の過程で、明治グループと家族を含め個人的な利害が対立する可能性が生じた場合は、その旨を適時適切に開示するなどして、最大限回避を図ります。

適正な会計処理

私たちは、

- 事実関係に基づき会計帳簿・証憑を正確に作成・記録し、保管します。
- 適正な財務報告を行い、不正な会計処理を行いません。
- 入出金は、関係する内部ルールに従い、必要な手続を経た上で行います。
- 各国・地域における税務コンプライアンスを徹底し、適正に納税します。



インサイダー取引の禁止

私たちは、

- 明治グループやビジネスパートナーに関する未公表の重要事実を利用して株式等の売買等(インサイダー取引)を行いません。
- 業務を通じて知り得た未公表の重要事実を他者に提供するなど、インサイダー取引を誘発する行為を行いません。
- 明治ホールディングス株式会社が発行する株式等を売買等する場合は、関係する内部ルールに従い、必要な手続を経た上で行います。

輸出入管理規制の遵守

私たちは、原材料、製品、設備・機器、ソフトウェア、技術等を輸出・輸入するにあたっては、外国為替法、外国貿易法その他輸出入等の規制に関する国内外の法令を遵守するとともに、関連する内部ルールに従い、所要の手続を適正に行います。

反社会的勢力への対応

私たちは、

- 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的な団体・個人(反社会的勢力)と一切関係を持ちません。
- 不当な要求には断固たる態度で臨み、マネーロンダリングへの関与や反社会的勢力への利益・便宜供与は行いません。
- 反社会的勢力より不当な働きかけがあった場合は、上職者および所管部署に報告の上、警察当局とも連携しつつ適切に対応します。

4

事業活動を通じた 人権の尊重

グローバルなサプライチェーンを持つ明治グループは、あらゆる国・地域において人権を尊重し事業を展開する責任があります。

また、私たちは、すべての人が生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等であることを認識しています。

人権の尊重

私たちは、

- 国際的に認められた人権を理解し、全ての人々の人権に配慮した事業活動を行います。
- 全ての人々に対し、いかなる理由があっても不当な差別やハラスメントを行いません。
- あらゆる形態の児童労働、強制労働および人身取引を排除し、許容しません。
- ビジネスパートナーに対しても人権の理解・尊重を求め、適切な取り組みが行われるよう積極的に支援します。

人権デュー・ディリジェンスと救済

私たちは、

- 事業活動における人権侵害のリスクを評価し、人権への負の影響を防止・軽減するための対策を実施します。(人権デュー・ディリジェンスの実施)
- 人権侵害を引き起こしたり、助長していることが明らかになった場合は、速やかにこれを是正し、被害者の救済を図ります。



5

健全で働きやすい 職場づくり

お客様の「健康・安心」への期待に応えていくためには、私たち自身が健康で安全・安心に働き、組織・個人の力を最大限に発揮する必要があります。

私たちは、職場で働く人々の多様性や人格・個性を尊重するとともに、安全・安心で働きやすい職場環境を整備し、コミュニケーションを重視した創造的で活力ある組織をつくります。

健康で安全・安心な職場づくり

私たちは、

- ころとからだの健康に貢献する企業の一員であるという自覚の下、一人一人が自身の健康維持・増進に努めるとともに、皆が心身ともに充実し安心して働くことのできる職場をつくります。
- 各種労働法令を遵守し、過重労働の撲滅に取り組みます。
- 「安全は全てに優先する」という認識のもと、職場の安全確保、労働災害ゼロの実現に継続的に取り組むとともに、安全文化の醸成に向け従業員が相互に意識を高め合う職場をつくります。
- 従業員と会社間、従業員同士において、誰もが安心して意見できる誠実なコミュニケーションを重視し、皆がイキイキと働くことのできる職場をつくります。

多様性や人格・個性の尊重

私たちは、

- 性別、性的指向・性自認、キャリア、年齢、国籍、障がい、雇用形態、育児・介護など多様な背景を持つ人財が、一人一人の特性・個性や志を尊重し合い、多様な人財が働きがいをもって様々な職務で活躍できる環境をつくります。
- お互いの多様な価値観を活かし合い、イノベーションや新たな価値を創造し、企業成長に繋がります。

組織・個人の活力と能力の発揮

私たちは、

- 個人の能力を最大限に発揮させる創造的で活力ある組織をつくります。
- 従業員が活力をもって働き続けられるよう、ワークライフバランスに配慮した働き方を推進します。
- 主体的に自らの能力を発揮し、成長できるよう努めます。
- 従業員が自らの能力を発揮し成長できるよう、一人一人の適性や個性を尊重し、人財の育成に取り組めます。

差別の禁止

私たちは、

- 人種、性別、性的指向・性自認、年齢、国籍、言語、宗教、障がい、出自、財産その他の身分・地位による不当な差別を行いません。
- 採用、解雇、昇進、報酬および手当、研修または退職などの人事処遇に関し、能力や実績に基づいて判断し、公平・公正に取り扱います。

ハラスメントの禁止

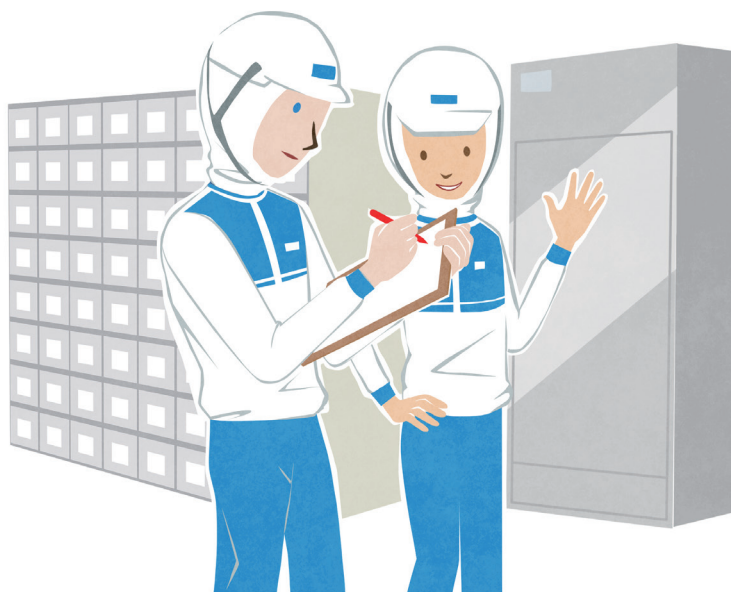
私たちは、

- いかなる事由があってもパワーハラスメントやセクシュアルハラスメントなどのあらゆるハラスメントを許容しません。
- ハラスメントのない、人々が互いに尊重し合う職場をつくります。

公平・公正な処遇の実現

私たちは、

- 各国・地域の法令によって定められた最低賃金等の労働条件を遵守し、公平・公正に処遇します。
- 従業員それぞれの意思に基づき、結社の自由および団体交渉権を尊重します。



6

良き企業市民としての 社会への貢献

私たちは、豊かで持続可能な社会の実現に向けて、良き企業市民として地域社会における諸課題の解決と持続的発展に貢献していきます。

社会貢献活動の推進

私たちは、

- 一人一人が地域社会への参画意識を持ち、様々な社会課題の解決や社会貢献活動に積極的に参加します。
- 個人の自発性を尊重し、従業員の社会参加のための環境整備ときっかけづくりに取り組めます。

外部パートナーとの連携

私たちは、NPO・NGO等の国内外の外部パートナーと連携し、あらゆる社会課題や支援活動に取り組めます。



7

ステークホルダーとの 誠実な対話

私たちは、あらゆるステークホルダーの期待に応え、信頼を得るために、様々な機会・メディアを通じての誠実な対話を大切にします。

ステークホルダーとのコミュニケーション

私たちは、

- 明治グループに関わる情報を公平・公正に、透明性高く、かつ、わかりやすく提供し、ステークホルダーへの説明責任を果たすとともに、相互理解を促進します。
- ステークホルダーの声に積極的に耳を傾け、事業活動、製品・サービスに反映することで、「健康・安心」への期待に応えていきます。

適時・適切な情報の提供

私たちは、

- 「適時・適切な情報開示」の精神に則り、透明性・公平性・継続性に配慮した迅速かつ積極的な情報提供に努めます。
- 財務情報に加え、経営戦略、ガバナンス、リスク、社会・環境課題等に関する非財務情報についても積極的に提供します。



ソーシャルメディアの利用

私たちは、

- ソーシャルメディアを利用する際は、プライベートでの利用であっても明治グループの一員としての自覚と責任を持ち、内部ルールに従って利用します。
- ソーシャルメディアで情報・意見を発信する際は、会社・個人のいずれの立場でのものであるかを明確に区別し、個人の発信が会社の立場・意見を代表しているかのように誤解されるおそれのある発信はしません。また、他者の名誉を毀損したり、他者を侮辱するような発信もしません。
- ソーシャルメディアを利用する際も、機密情報・個人情報の保護を徹底します。

8

会社資産・情報の適切な管理・利用

私たちは、会社資産を適切に管理し、利用します。会社資産には、設備や物品等の有形資産だけでなく、知的財産、情報やシステム等の無形資産が含まれることを理解しています。

知的財産権の尊重

私たちは、

- 知的財産の創出に努め、知的財産を活用することにより、製品・サービスの新たな価値の創造に繋げるとともに、社会課題の解決や社会の発展に寄与します。
- 競争優位性の源泉である知的財産の重要性を理解し、自社の知的財産権の確保に努めます。
- 第三者による不当な侵害から自社の知的財産を保全します。また、第三者の知的財産権を尊重し、不当な侵害や無断使用を行いません。

機密情報の保護

私たちは、

- 機密情報には書面等の有形物に記載・記録されたものだけでなく、電子データ・ノウハウ・アイデア等の無形のものも含まれることを理解し、内部ルールに従ってそれらを適切に管理します。
- 第三者の機密情報を不正に入手したり、契約等の合意に基づかないで不正に利用・開示しません。
- 自社の機密情報について、公共の場所やソーシャルメディア等で話題に出すなど、無断で第三者に開示し、漏洩しません。

個人情報の保護

私たちは、

- 個人情報の取得・利用・提供にあたって関連法令を遵守するとともに、不正な手段により取得したり、不正な目的で利用したり、不法に第三者へ提供しません。
- 個人情報は、安全管理措置に関する内部ルールに従って適切に管理し、外部に漏出させません。

会社資産の保全・適正利用

私たちは、

- 会社の資産、物品、情報システムその他の財産は会社の事業運営のためのみに利用し、会社の利益を害したり、自らや第三者の利益を得るためなどの不正な目的で利用しません。
- 情報システム、デジタル機器は、会社によりセキュリティ等の安全性が確認されたもののみを利用します。



9

危機管理の強化

私たちには、ますます多様化していくリスク要因に備えて、かつ、事業への影響を最小化するべく、適切・実効的な危機管理体制を整備し、不断にその強化を図る必要があります。

危機管理の準備

私たちは、一人一人が常に危機意識を持ち、危機が発生した際に即応できるよう、組織防衛上必要とされる施策・対策を平時から準備しておくよう努めます。

事業継続に向けた対応

私たちは、

- 大地震等の自然災害やパンデミックの発生等、重大な危機が発生した際は、早期に事業活動を復旧させ、食品・医薬品の供給責任を果たすよう努めます。
- 自然災害やパンデミックが発生した場合は、役員・従業員と地域住民の安全を第一に行動し、早期の事業回復に向けて対応します。

サイバーセキュリティの強化

私たちは、

- 事業継続の基盤である情報システムへのサイバー攻撃に備え、セキュリティの強化に取り組めます。
- グループポリシー・内部ルールを遵守し、必要な対策を講じることで不正アクセスや情報流失の防止に努めます。
- セキュリティ事故の防止に努め、万一事故が発生した場合には、速やかに所管部署へ報告し、被害の拡大と再発防止に努めます。

テロ・紛争等に関する危機管理

私たちは、

- テロ・紛争等の発生や社会情勢の急激な変化に備え、日頃から情報収集および安全対策への反映に努めます。
- テロ・紛争等から役員・従業員の安全を守るとともに、事業への影響を最小化するべく努めます。



最後に

適切に判断するために

私たちは、自分の行動に確信が持てない場合には、次の観点も踏まえて適切に判断するよう努めます。

- その判断は法令や業界ルール、グループポリシー・内部ルールに適合していますか？
- その判断にはインテグリティが反映されていますか？
- その判断の正しさをステークホルダーに対し自信を持って説明できますか？
- その判断に関し自分の家族に対して胸を張れますか？

それでも判断できないような場合には、上職者や自社の関係部署に相談します。

内部通報

明治グループでは、各社ごとに独立性が担保された内部通報・相談窓口(会社により外部受付窓口も)を設置しており、コンプライアンス違反またはそのおそれを認知した場合に当該窓口を利用することができます。

なお、

- 通報・相談に関しては秘密として厳守されます。
- 匿名での通報・相談も可能です。
- 通報・相談したことを理由に不利益な取り扱いを受けないことが保障されます。

私たちは、この行動規範が実効的なものとなるよう、内部通報・相談窓口を適切に利用します。



行動規範とポリシーの関係

	行動規範(大項目)	ポリシー・宣言等
	はじめに	グループ理念、経営姿勢、行動指針、企業行動憲章
1	製品・サービスを通じた健康価値の提供	明治グループ食品栄養ラベリングポリシー
		明治グループ子ども向けマーケティングポリシー
		明治グループBMSマーケティングポリシー (BMS: Breast-Milk Substitutes: 母乳代替品)
		消費者志向自主宣言
2	事業を支える自然との共生	明治グループ環境ポリシー
		明治グループ汚染防止ガイドライン
		明治グループ水資源ポリシー
		明治グループプラスチック資源循環ポリシー
		明治グループ生物多様性保全活動ポリシー
3	社会から信頼される公平・公正な事業活動	明治グループ腐敗防止ポリシー
		明治グループ調達ポリシー
		生乳調達ガイドライン
		カカオ調達ガイドライン
		パーム油調達ガイドライン
		大豆調達ガイドライン
		紙調達ガイドライン
		明治グループサプライヤー行動規範
		明治グループファームアニマルウェルフェアポリシー
		明治グループ税務ポリシー
4	事業活動を通じた人権の尊重	明治グループ人権ポリシー
		明治グループ外国人労働者雇用ガイドライン
5	健全で働きやすい職場づくり	明治グループ労働安全衛生ポリシー
		明治グループダイバーシティ&インクルージョンポリシー
		明治グループ健康経営宣言
		明治グループ能力開発方針
6	良き企業市民としての社会への貢献	明治グループ社会貢献活動ポリシー
7	ステークホルダーとの誠実な対話	ディスクロージャー・ポリシー
		明治グループソーシャルメディアポリシー
8	会社資産・情報の適切な管理・利用	明治グループ情報セキュリティポリシー
9	危機管理の強化	
	最後に	

明治グループ行動規範

発行元 明治ホールディングス株式会社

制定年月 2023年4月

健康にアイデアを

meiji

